

## 【ケミレスタウンプロジェクトの概要】

近年、新築の建物の中で建材から揮発する化学物質などに反応し、頭痛やめまいなどを生じる「シックハウス症候群」が問題になっています。原因物質としては、建材そのものから発生するもののほか、家具やカーテン、電化製品などから発生する化学物質が考えられますが、原因物質がわからない場合もあります。そこで本プロジェクトでは、シックハウスを疑われる子供の患者さまとご家族を主な対象として、千葉大学環境健康フィールド科学センター(千葉県柏市)内に環境医学診療科を開設するとともに、化学物質をできるだけ低減した建材や家具等を使用したシックハウス症候群をおこしにくい実証実験施設群を建設します。そして、患者さまとご家族に体験的に滞在していただくことで、症状改善を実証し、「ケミレス」とよべる快適な住環境、生活環境の指針を得ること、提案することを目的とした実証実験を行います。実験結果は、今後開発される千葉県東葛地域の新しい街づくりにも生かされます。

## 【ケミレスタウン構想】

- ・ 千葉大学環境健康フィールド科学センター内に化学物質を可能な限り低減した戸建および集合住宅、テーマ棟、庭などのある「モデルタウン」を建設する。
- ・ 同敷地内に「千葉大学診療所環境医学診療科」を建設し、シックハウスを疑われる子供の患者とご家族の相談に乗ったり、血中の化学物質を測定したりする環境予防医学を行う。
- ・ シックハウスを疑われる子供の患者さまとご家族には、ケミレスタウンの家に滞在してもらい、症状が緩和するかどうかを診る。症状が緩和すれば普段生活している家に問題があるということが疑われる。
- ・ 将来的には柏市、流山市など周辺自治体とも連携し、街全体において化学物質の低減を図り、アレルギーに悩む家族だけでなくすべての人にとって健康に良い「環境ユニバーサルデザイン」の街づくりを目指す。

## 【今後のロードマップ】

- ・ 2006 年度 実証実験施設群の建設工事 10月着工・3月竣工
- ・ 2007 年度 環境医学診療科の開設、実証実験施設群の性能調査、試行入居
- ・ 2008 年度 実証実験開始